

『上手な断り方』

1. 展開案

	学習活動	教師のはたらきかけ	留意すること
わかる	1. 本時の目標を知る。	<p>○今日は、断り方について学習します。みんなの前で発表してもらったり、練習したりすることがありますが、ふざけたり恥ずかしがったりせずに積極的に取り組みましょう。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ふざけない ・恥ずかしがらない </div> <p>○誰かから何かを頼まれたとき、それを断って「何か悪いことをした」という気持ちになったことはありませんか。</p> <p>○できないことを頼まれて、断れずに引き受けてしまい、cという気持ちになったことはありませんか。</p> <p>○上手に断ると、自分も「悪いことをした」とか、「悪いことをした」とか思わなくて済むし、相手も傷つかなくて済みます。そんな上手な断り方を身につけましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールが必要な理由を添えて説明する。 ・断ると相手に嫌われるかもしれない、断ると相手が傷つくかもしれないなど
	上手に断る練習をしよう。		
	<p>2. モデリングを見て、断り方のポイントを知る。</p> <p>【モデリング】</p> <p>I 一方的に</p> <p>II ポイントを意識して</p>	<p>○これから2つの断る場面を行います。どちらの断り方の、どのようなところがよいか考えながら見てください。</p> <p>○どちらの断り方の、どのようなところがよかったと思いますか。</p> <p>○断っても、相手が「仕方ない」と思えるような断り方ができると、悪いことをしたとは感じられません。</p> <p>○上手な断り方のポイントをまとめてみましょう。</p> <p>○まず、断ることに対する謝罪の気持ちを言いましょう。そして、断らなければならない理由を説明して引き受けられないことを表明します。できれば、代替りの提案ができるといいですね。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>【断り方のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①謝罪(感謝)を言う ②理由を言う ③断りを言う ④代案を提案する </div> <p>○断り方には3つのパターンがあります。</p> <p>○まず、アグレッシブ(攻撃的)な断り方。次にノンアサーティブ(非主張的)な断り方。最後に今日の授業で目指すアサーティブ(主張的)な断り方があります。相手へのス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師と生徒または生徒同士で演じさせる。 ※モデリングシナリオ参照 ・断られたときの気持ちにどんな違いがあったか、「断られる役」に聞く。 ※ワークシート参照 ・ワークシートにポイントを記入させる。 ・ワークシートの『断り方の3つのパターン』を説明する。

		トレスを必要以上強くしないで、自分の意思を伝えるやりかたです。先ほどの4つのポイントを頭に入れて、アサーティブな断り方ができるようになりましょう。	
やってみる	<p>3. 断り方のポイントに気を付けながら練習①をする</p> <p>4. 練習①を振り返る。</p> <p>5. 断り方のポイントに気を付けながら練習②をする。</p> <p>6. 練習②を振り返る。</p>	<p>○これから練習をします。3人グループで「生徒A役」「生徒B役」「観察役」を決めてください。</p> <p>○役割が決まったら、断り方のポイントに気を付けながら練習してください。</p> <p>○1回の練習が終わったら、「観察役」はよかったところを伝えてください。</p> <p>○役割を交替しながら、全ての役割を練習しましょう。</p> <p>○全ての役割の練習が終わったら、それぞれワークシートに自己評価をしてください。</p> <p>○練習②では、ワークシートの4つの場面から2つを選んで練習しましょう。</p> <p>○3人グループで「生徒A役」「生徒B役」「観察役」を決めてください。</p> <p>○役割が決まったら、断り方のポイントに気を付けながら練習してください。</p> <p>○1回の練習が終わったら、「観察役」はよかったところを伝えてください。</p> <p>○役割を交替しながら、全ての役割を練習しましょう。</p> <p>○全ての役割の練習が終わったら、それぞれワークシートに自己評価をしてください。</p>	<p>※ワークシート参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 各グループの活動を観察し、必要に応じてアドバイスをします。 「観察役」はポイントを押さえて断ることができているか観察するように促す。 ポイントを自己評価させる。 時間に応じて演習の数は加減する。シナリオは書かせても、書かせなくてもよい。 各グループの活動を観察し、必要に応じて指示する。 「観察役」はポイントを押さえて断ることができているか観察するように促す。 ポイントを自己評価させる。
ふりかえる	7. 学習のまとめをする。	<p>○今日は上手な断り方の練習をしました。今日の学習を振り返りましょう。</p> <p>○断り方を知っておくのも大切ですが、上手な頼み方も知っておく必要があります。相手の都合を考えて、理由をはっきり伝えて、頼むようにしないとイケません。上手に頼んでも、今回のように断られることもあるかもしれません。どちらの立場に立っても、気持ちよく意思を伝えることができればいいですね。</p> <p>○これからの生活の中で、今日学んだポイントを活用しましょう。</p>	<p>※ワークシート参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシートに記入させ、回収する。 数人の感想を紹介してもよい。 過去に「上手な頼み方」を実践していたら、簡単に振り返る。 日常場面での活用を促し、スキルの定着を図る。

モデリングシナリオ

場面設定

ある日の休み時間、Aさんが今朝買ってきた雑誌を読んでいると、同じクラスのBさんが、話しかけてきました。Aさんは、連載中の物語の続きが気になっているので、今はこのページを読ん
でしまいたいと思っています。

生徒A・・・断る役 生徒B・・・頼む役

モデリングⅠ 一方的に断る。

生徒Aは雑誌を読んでいる。そこへ、友人の生徒Bが近付いてきた。

生徒B : (生徒Aに近づき) 「ねえ、Aさん。それ、今日発売の雑誌だよな。

今月の星占いのコーナー読みたかったんだ。ちょっと貸してよ。」

生徒A : (大きな声で) 「いやよ。今、私が読んでいるんだから。自分で買えばいいじゃない。」

生徒B : 「ええっ、ひどいなあ。それぐらい、いいじゃない。もういいよ、頼まないよ。」

生徒A : ……。(無視して読み続ける)

モデリングⅡ ポイントを意識して断る。(謝る、断る理由を言う、断る、代案を提案する)

生徒Aは雑誌を読んでいる。そこへ、友人の生徒Bが近付いてきた。

生徒B : (生徒Aに近づき) 「ねえ、Aさん。それ、今日発売の雑誌だよな。

今月の星占いのコーナー読みたかったんだ。ちょっと貸してよ。」

生徒A : 「ごめんね、Bさん。今読みかけているページがあるから、すぐには貸せないの。

もうちょっと待っててくれない？ 読み終わったら、星占い、私も気になっているから、
一緒に見ようよ。」

生徒B : 「うん、いいよ。」

生徒A : 「よかった、すぐ読んでしまうね。」

3. 活用場面のアレンジ例

「⑩上手な断り方」のスキルをどのような場面で用いるか、具体的な学校生活の場面をまとめました。ソーシャルスキル・トレーニングを授業で行う際、モデリングやロールプレイのシナリオをアレンジするときの参考にしてください。また、授業後に、スキルの定着化のための働きかけにご利用ください。

時間がなくて誘いや頼みを受けられないとき
自分にできそうにない誘いや頼みだったとき
誘いや頼みに関心がなかったとき
遊びたくなかったとき
遊べなかったとき
他にやりたいことがあるとき
したくないことを断りたいとき
好きではないこと（もの）を勧められたとき
答えたくないことを質問されたとき